

提案概要（下関市勤労者総合福祉センター）

評価項目		指定管理候補者
基本的な考え方	施設の性格や目的等に合致した方針	下関市勤労者総合福祉センターの「勤労者の福祉の充実と勤労意欲の向上を図る」という設置目的の達成のため、4つの基本方針を定め、管理運営を行う。 1. 健康で心豊かに生活できる環境づくり 2. 生涯学習活動の推進 3. 余暇の有効活用 4. 公共施設としての適正な管理運営
	市民の平等な利用の確保	公平・公正な施設利用は「公の施設」に最も求められるものであり、条例、規則及び関係法令等を遵守し、「快適な場」の拠点を目指す。
	施設の効用の最大限の発揮	健康イベントや出前講座の活用、余暇を有効活用するための講座開催、地区の協議会や地域団体等との連携、各種広報活動を行い、施設の利用促進を図る。 会議室の遮熱等による経費の削減を行う。
団体の経営状態の健全性		定款、事業計画書、収支計画書、事業報告書及び決算書等により、経営の健全性を公表している。
事業計画	施設管理運営の実施方針（合目的性）	上記の4つの基本方針に基づき、「勤労者のプラスαを実現する拠点づくり」をビジョンとして、市内外の企業で働く方に満足いただける施設運営を行う。
	事業への具体的な取り組み方（機能性、独創性）	1 魅力的な事業展開による利用促進 （1）健康イベントによる利用拡大 （2）出前講座を活用した生涯学習による利用拡大 下関市の出前講座事業の活用 5 講座の開催 （3）余暇の活用による利用拡大 7 講座の開催 （3）勤労者のプラスαを実現する連携 地域団体や公益団体等の連携 （4）広報活動による利用促進 2 サービス向上のための取組内容 （1）快適空間の提供 （2）苦情・トラブル対応 （3）意見・要望の把握 （4）Wi-Fi 環境整備 （5）LED 照明切り替えによる節電 （6）熱中症予防 （7）障がい者スポーツの推進

	施設の運営体制や組織（責任制、実効性）	人員配置計画に基づき、適切な施設管理ができるように責任者、有資格職員を配置する。また、本社に事務局を置き、バックアップ体制を整える。 研修計画に基づき、職員の資質の向上を図る。
	適正な管理や経理（明瞭性、規律性）	法令上の安全義務を履行し、予防保全や職員による日常点検により正常な状態を保ち、異常がある場合は迅速な対応による早期復旧に努める。専門知識や技術を要する業務を専門業者に委託し、安全で快適な環境を提供するために万全な体制で維持管理を行う。
	安全管理、緊急時等の対応（安全性）	日常点検や危機管理計画に基づき、未然に防止する方策をとる。 緊急事態発生時には対応マニュアルに基づき、利用者の安全確保を第一に、迅速な避難・誘導等に努め、必要な処置を講じる。 プライバシーマーク付与事業者として、個人情報を適切に保護するため、個人情報保護法に基づき、個人情報保護マネジメントシステムを確立し、運用する。
	環境、障害者等への配慮（社会性）	しものせきエコマネジメントに基づいた「環境保全対策への取り組みの指針」を定め、環境への負荷低減を図る。
	過去の実績等	下関市勤労青少年ホーム 平成18年以降 長府庭園、長府毛利邸、下関市内体育施設 ほか
経済性	提案価格 令和8年度 25,769千円 令和9年度 25,682千円 令和10年度 25,699千円 令和11年度 25,643千円 令和12年度 25,707千円	